

=== Ver. 3.00 変更内容 ===

=====

□機能強化

- ・認識対象項目（氏名、住所など）の認識について、従来と比較してより高精度な AI による文字認識処理（AI 文字認識）を行う AI (CPU) 版と AI (GPU) 版を追加
- ・AI 文字認識の場合、認識対象文字として「崎」「高」などの環境依存文字の一部に対応
- ・AI 文字認識の場合、認識対象文字として「𪛗」などの組み文字の一部に対応

□精度改善

- ・AI4 点検出の検出精度を改善

□仕様変更

- ・動作環境/開発環境として、Windows 10 の対応バージョンを以下に変更
 - ・Windows 10 2004 / 20H2 / 21H1 日本語版
 - ・動作環境として以下の OS に対応
 - ・Windows Server 2022 日本語版
 - 対応エディション：Standard, Datacenter
 - ・住所から郵便番号を取得する API 関数 IDRDriverLicGetZipCode で、住所文字列が空文字列の場合にエラーとしていたが、エラーとせず郵便番号リストのサイズを 0 として返却するように変更
-

=== Ver. 2.70 変更内容 ===

=====

□機能強化

- ・運転免許証のコーナー 4 点の座標を検出する機能について、AI による検出処理を行う AI (CPU) 版と AI (GPU) 版を追加
- ・旧姓(旧氏)の併記へ対応を最新フォーマット（※）に合わせて見直し
※警察庁通達：警察庁丁運発第 174 号（令和元年 11 月 28 日）に基づく

□仕様変更

- ・開発環境として以下の OS に対応
 - ・Windows 10 1909 / 2004 / 20H2 日本語版
- ・開発環境として以下の OS への対応を終了
 - ・Windows 10 1803 / 1809 日本語版
 - ・Windows 7
- ・動作環境として以下の OS に対応
 - ・Windows 10 1909 / 2004 / 20H2 日本語版
- ・動作環境として以下の OS への対応を終了
 - ・Windows 10 1803 / 1809 日本語版
 - ・Windows 7

- Visual Studio の以下のバージョンへの対応を終了
 - Visual Studio 2010 / 2012 / 2013
- 動作環境へインストールに必要な Visual C++ 再頒布可能パッケージを Visual Studio 2010 から Visual Studio 2015 に変更

不具合修正

- 認識結果の文字列にヌルポインターが返却される場合がある不具合を修正
- 画像処理(台形補正/自動傾き補正/自動回転)後の画像を取得しない指定ができなかった不具合を修正
- 認識結果に不正な文字コードが挿入される場合がある不具合を修正

==== Ver. 2. 61 変更内容 ====

不具合修正

- 住所から郵便番号を取得する機能において、特定の住所で郵便番号が取得されない不具合を修正
- 特定の住所で都道府県名が認識結果として出力されない不具合を修正
- 住所から郵便番号を取得する機能において、異なる都道府県で同一の市区町村名が存在する住所を検索した場合、特定の都道府県の郵便番号が取得されない不具合を修正

==== Ver. 2. 60 変更内容 ====

新機能

- 旧姓(旧氏)の併記へ対応

仕様変更

- 動作環境として以下の OS に対応
 - Windows Server 2019 日本語版
対応エディション: Essentials, Standard, Datacenter
- 動作環境として以下の OS の対応を終了
 - Windows Server 2008 SP1/SP2 日本語版
対応エディション: Standard, Enterprise, Datacenter
 - Windows Server 2008 R2 SP1 日本語版
対応エディション: Standard, Enterprise, Datacenter
- Visual Studio の以下のバージョンに対応
 - Visual Studio 2019

==== Ver. 2. 50 変更内容 ====

精度改善

- 自動回転の精度を改善

仕様変更

- 住所辞書へ 2014 年 8 月から 2019 年 8 月末までのデータを反映

==== Ver. 2. 41 変更内容 ====

□精度改善

- ・新元号表記された有効期限・交付日・取得日の認識精度を改善
- ・氏名の認識精度を改善
- ・取得日の認識精度を改善
- ・生年月日の認識精度を改善
- ・公安委員会の認識精度を改善

□不具合修正

- ・住所の認識で「・」が「-」として認識される場合がある不具合を修正

==== Ver. 2. 40 変更内容 ====

□新機能

- ・新元号表記へ対応
- ・有効期限の表記変更へ対応

□仕様変更

- ・開発環境・動作環境として以下の OS に対応
 - ・ Windows 10 version 1803 / 1809 日本語版
対応エディション：Home, Pro, Enterprise, Education
- ・開発環境・動作環境として以下の OS の対応を終了
 - ・ Windows 7 SP なし
対応エディション：Starter, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate
 - ・ Windows 10 version 1507 / 1511 / 1607 / 1703 / 1709 日本語版
対応エディション：Home, Pro, Enterprise, Education

==== Ver. 2. 30 変更内容 ====

□精度改善

- ・公安委員会の認識精度を改善
- ・踊り字(々)が含まれる姓名の認識精度を改善

□仕様変更

- ・準中型免許証へ対応
- ・指定座標をマスキングした画像を返却する機能を追加
- ・画像の保存機能(API)を追加
- ・顔写真フィールドの検出機能を追加
- ・入力可能な画像の最小サイズを 800 ピクセルから 400 ピクセルへ変更

□不具合修正

- ・一部の姓名の読み仮名が出力されない不具合を修正

- ・ 姓名・住所の一部が出力されない場合がある不具合を修正

仕様変更

- ・ Visual Studio の以下のバージョンに対応
 - ・ Visual Studio 2017
 - ・ 動作環境として以下の OS に対応
 - ・ Windows Server 2016 日本語版 SP なし
- 対応エディション : Foundation, Essentials, Standard, Datacenter
-

=== Ver. 2.20 変更内容 ===

精度改善

- ・ 生年月日の認識精度を改善

仕様変更

- ・ 住所辞書へ 2012 年 1 月から 2017 年 2 月末までのデータを反映
- ・ 免許証番号の認識結果が 12 桁以外の場合は有効性チェックエラーとする仕様へ変更
- ・ 免許証番号の認識結果に数字以外の文字が含まれる場合は有効性チェックエラーとする仕様へ変更

不具合修正

- ・ 生年月日が「大正」の場合に正しく認識できない不具合を修正
-

=== Ver. 2.10 変更内容 ===

- ・ Ver. 2.10 は for iOS、for Android のみ
-

=== Ver. 2.00 変更内容 ===

新機能

- ・ マルチスレッドでの動作に対応
- ・ 64 ビットネイティブ対応

精度改善

- ・ 姓名、住所、生年月日、有効期限、交付日の認識精度を改善
- ・ 四点検出の精度を改善

仕様変更

- ・ マルチスレッド対応にともない API 仕様を一部変更
- ・ Visual Studio の以下のバージョンに対応
 - ・ Visual Studio 2012
 - ・ Visual Studio 2013
 - ・ Visual Studio 2015
- ・ Visual Studio の以下のバージョンの対応を終了
 - ・ Visual Studio 2005 SP1

=== Ver. 1.30 変更内容 ===

不具合修正

- ・背景が複雑な画像で台形補正を実行すると強制終了する場合がある不具合を修正
- ・背景が複雑な画像を認識させると強制終了する場合がある不具合を修正
- ・免許証を複数並べた画像を認識させると強制終了する場合がある不具合を修正
- ・アスペクト比が 16:9 や 4:3 以外の画像を認識させると強制終了する場合がある不具合を修正

精度改善

- ・姓名後処理の精度を改善

仕様変更

- ・開発環境として以下の OS の対応を終了
 - ・Windows 8 日本語版 SP なし
(無印, Pro, Enterprise)
- ・動作環境として以下の OS の対応を終了
 - ・Windows 8 日本語版 SP なし
(無印, Pro, Enterprise)
 - ・Windows Server 2003 SP2
(Standard, Enterprise, Datacenter)
 - ・Windows Server 2003 R2 SP2
(Standard, Enterprise, Datacenter)

=== Ver. 1.20 変更内容 ===

新機能

- ・住所から郵便番号を取得する機能を追加
 - ・IDRDriverLicGetZipCode()
- ・動作モードを設定・取得する機能を追加
 - ・IDRDriverLicGetDefaultProcMode()
 - ・IDRDriverLicGetProcMode()
 - ・IDRDriverLicSetProcMode()

機能強化

- ・各フィールドの矩形座標の出力に対応
 - ・IDR_FIELD_RESULT::rect

=== Ver. 1.10 変更内容 ===

新機能

- ・以下の項目の認識機能を追加

- ・免許証の色
- ・免許の条件
- ・二輪・小型・原付免許取得日
- ・その他免許取得日
- ・二種免許取得日
- ・免許証の種類
- ・公安委員会
- ・免許証の有効性チェック機能を追加

□機能強化

- ・姓・名の読み仮名の出力に対応
- ・スキャナー画像の画像解析処理の精度を改善

==== Ver. 1.03 変更内容 ====

□機能強化

- ・傾き補正後画像の画質を改善
- ・自動回転の精度を改善
- ・スキャナー画像の画像解析処理の精度を改善
- ・認識対象フィールドの切り出し精度を改善

==== Ver. 1.02 変更内容 ====

□新機能

- ・自動傾き補正の機能を追加
 - ・IDRDriverLicAutoSkewImage()
- ・自動回転の機能を追加
 - ・IDRDriverLicAutoRotateImage()
- ・スキャナー画像用の画像解析機能を追加
 - ・IDRDriverLicPreprocessRecogEx()

□仕様変更

- ・ファイル構成を一部変更

==== Ver. 1.01 変更内容 ====

□新機能

- ・氏名を姓・名に分割しての出力に対応
- ・住所を都道府県・市町村・地域に分割しての出力に対応
- ・フィールドの切り出し画像の出力に対応
- ・各フィールドの認識結果について、候補文字情報や確定・未確定情報の出力に対応

□仕様変更

- ・開発環境として以下の OS に対応

- Windows 8.1 日本語版 SP なし
対応エディション：無印, Pro, Enterprise
 - 動作環境として以下の OS に対応
 - Windows 8.1 日本語版 SP なし
対応エディション：無印, Pro, Enterprise
-